

技能・形態・時間	書く 個人 4分(3分書く+1分数える)
この帯のねらい	お題1つについて、3分間とにかく英語を書き続ける。消しゴム禁止・辞書なし・間違えても進む。語数を毎回数えて記録するので、「先月の自分より書ける」が数字で見える帯。

やり方 毎回この流れ(先生の英語の合図で始まる)

1

Today’s topic is Three minutes. Ready, go!

先生がお題を1つ板書(例: my favorite place / if I have one million yen)

2

Keep writing! Don’t stop, don’t erase.

3分間、手を止めない。つづりが不安でも書く。文が浮かばなければ同じ文型で別の内容を書く

3

Stop! Count your words.

終了。自分の語数を数えて記録欄へ(先週の自分と比べる)

4

Underline your best sentence.

今日いちばん気に入った1文に下線→隣と読み合いっこ(時間があれば)

ルール

・消しゴム禁止(直したいときは線を引いて隣に書く)

・日本語メモ禁止。単語が出なければ知っている易しい語で言いかえる

・比べる相手は隣の人ではなく、先週の自分

きろく やるたびに記録しよう(のびていく自分が見える)

回	日付	書けた語数	ひとこと(できたこと・次の目標)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

☆レベルアップ！ 月に1回「ベスト回」を清書して提出→学級の文集に(読み手ができると本気度が変わる)。お題を今週の文法とリンクさせると運用練習になる(比較の週: my hero vs me／仮定法の週: if I could fly)。

先生へ(この帯活動の運用)

流暢性ライティング(fluency writing)の帯。採点はしない——語数の伸びだけを見る(正確さはこちらでは問わない、と宣言することで手が動き出す)。下線を引かせた「ベスト1文」だけ、机間巡視でときどき拾って褒めると、質も自然に上がっていく。

語数記録がこの活動の心臓部。たまったら折れ線グラフにさせると、ほぼ全員が右肩上がりを実感できる。